

柱本小学校と三石小学校の再編統合計画 に関する説明会・意見交換会(第2回)

(紀見北中学校区)

日時：令和8年9月12日(土) 18:30～

場所：紀見北地区公民館

橋本市教育委員会 学校再編推進室

TEL 0736 (25) 6345

本日のながれ

1. 前回説明会
2. 再編統合による『新しい学校』
3. 柱本小学校区の通学支援
4. 児童ケア
5. 保護者負担の軽減
6. 再編統合前の学校選択
7. 今後の進め方
8. 学校再編準備委員会

Ⅰ．前回説明会

(Ⅰ) 第Ⅰ回説明会・意見交換会

対 象	開催日	開催場所
柱本小学校 保護者	5月16日（土）	柱本小 体育館
三石小学校 保護者	6月 6日（土）	三石小 体育館
紀見北中学校区 未就学児保護者	6月 6日（土）	教育文化会館
紀見北中学校区 地域住民	6月14日（日）	紀見北地区公民館

(Ⅱ) バス等の通学支援に関する説明会・意見交換会

対 象	開催日	開催場所
柱本小学校 保護者	7月11日（土）	紀見北地区公民館

(Ⅲ) 主な説明項目

- ・橋本市の教育の現状 ・再編統合計画（考え方やスケジュールなど）
- ・再編統合に係る留意事項（スクールバスの運行、学校選択、児童ケアなど）

Ⅰ. 前回説明会

(4) 寄せられた意見

<保護者>

- ・ スクールバスの発着場を「林間田園都市駅バスロータリー」ではなく、三石小学校としてほしい
- ・ 紀見ヶ丘内の大通りは渡る際に危険がある
- ・ 再編に伴う体操服の変更は、市が費用を負担してくれるのか
- ・ 児童へのケアを特に丁寧にしてほしい

<地域住民>

- ・ 子供たちや先生に負担のない形を目指して、こども中心に学校再編を進めてほしい
- ・ 保護者が望むなら、三石小学校へのバスの乗り入れを前向きに検討してほしい



2. 再編統合による『新しい学校』

(1) 望ましい学校規模の方針

校種	規模	基本的な考え方
小学校	1 学年 2 学級以上	子供が多様な学習形態で学び、多様な考えに触れることで、思考力、表現力、問題解決力等が育まれ、急激な社会変化に対応できる力を身につけるために、各学年2学級以上が望ましい。 今後、1学級の学年が生じている学校が、さらに縮小することが見込まれる段階で統廃合の検討を始める。
中学校	1 学年 2 学級以上	教員配置を考えると各学年3学級以上が望ましいが、学校の小規模化が進む中、3学級以上は難しい。幅広く多様な人間関係の中で成長していくことが大切な時期であるので、各学年2学級以上の規模は必要である。 現在、2学級の学年が生じている学校が、1学級となることが見込まれた段階で統廃合の検討を始める。

2. 再編統合による『新しい学校』

(2) 柱本小学校と三石小学校の児童数推計

<児童数推移>

(人)

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
柱本小学校	90	87	82	72	65	59	52
三石小学校	246	240	235	223	205	192	169
計	336	327	317	295	270	251	221

<クラス数推移(通常学級)>

(学級)

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
柱本小学校	6	6	6	6	6	5	5
三石小学校	11	10	9	8	7	7	6

令和8年5月時点の在校生数及び、令和8年3月末時点で校区に在住している0～5歳児に基づく推計値です。
今後の転出入や進学状況により児童数・クラス数は変化する可能性があります。

2. 再編統合による『新しい学校』

(3) 柱本小学校、三石小学校の教育

柱本小学校

◎学校教育目標

「確かな学力を身につけ、主体的に行動できる心豊かで
たくましい児童の育成」～よく学び、よく遊び、思いやり
のある子の育成～

◎研究主題

「主体的・対話的で自ら学びを深める児童の育成」～教師の
「しかけ」と支持的風土ある学級づくり～

◎特色ある教育活動（総合的な学習の時間等）

- ・わたしたちの柱本を知ろう
- ・人と関わり互いに認め合い共存していこう
- ・くらしを支える人やものを知ろう
- ・わたしたちの社会参画を考えよう

◎地域と連携した活動

ふるさと展望 芋谷の棚田で米作り ほたるの学習 老人会との
交流会 中学校区地域一斉清掃 など

◎学校行事

ウインターフェスティバル 校内マラソン大会 なわとび大会 など

三石小学校

◎学校教育目標

「人権教育を基礎に据え、徳・知・体の調和のとれた児
童の育成を目指す」～ふるさとを愛する心を育み、持続
可能な社会を創り出すこどもの育成～

◎研究主題

「すべての児童が『わかった・できた・楽しい』を実感でき
る授業づくり」
～個別最適な学びと協働的な学びを意識して～

◎特色ある教育活動（総合的な学習の時間等）

- ・わたしたちの町を知ろう、ふるさとを紹介しよう
- ・より良い環境を作るには
- ・調べて作ろう夏野菜編、冬野菜編
- ・防災・福祉・将来について考えよう

◎地域と連携した活動

防災キャンプ（隔年） 三石だんじり祭り 中学校区地域一斉清
掃 など

◎学校行事

三石小フェスティバル ミッシーランドタイム（たてわり活動）
校内マラソン大会 なわとび大会 など

2. 再編統合による『新しい学校』

(4) 新しい学校に向けて

新しい学校に向けての考え方

◇両校の強み、特色ある教育のハイブリッド化

◇「どんな子供を育てたいのか」 そのために「どんな学校をつくるのか」というビジョンの共有

◇今までの「積み上げてきたものがなくなる」のではなく、「新しい土壌で、さらに大きなものを育てる」というステップ



” 一番大切にしたいこと ”

子供が中心となる学校づくり

柱本小学校区の子供 三石小学校区の子供 みんな ”新しい学校” の地域の子供

柱本小学校区
柱本小学校の子供、地域に住んでいる子供



三石小学校区
三石小学校の子供、地域に住んでいる子供

2. 再編統合による『新しい学校』

(5) 新しい学校の校名

新しい学校の学校名は

- 両校の歴史・伝統を大切に引き継ぎ「新しい学校」を創ります
- 新しい学校の校名は、新たな教育の場、地域コミュニティを創る重要なプロセス



『新しい学校名とします』

ただし、新しい学校名には「柱本小学校」及び「三石小学校」は校名候補に含めない形で協議します

3. 柱本小学校区の通学支援

(1) 光陽台ルート

対 象 者：最大25名（R14年度までの児童数推計より）

想定地区：光陽台、矢倉脇、柱本

通学支援：スクールバス

内 容：マイクロバス1台（最大27名）

停 留 所：4カ所（三石小学校含む）

便 数：行き2便、帰り3便

そ の 他：矢倉脇地区内をマイクロバスで通行可能か区と調整中

スクールバス (光陽台ルート)

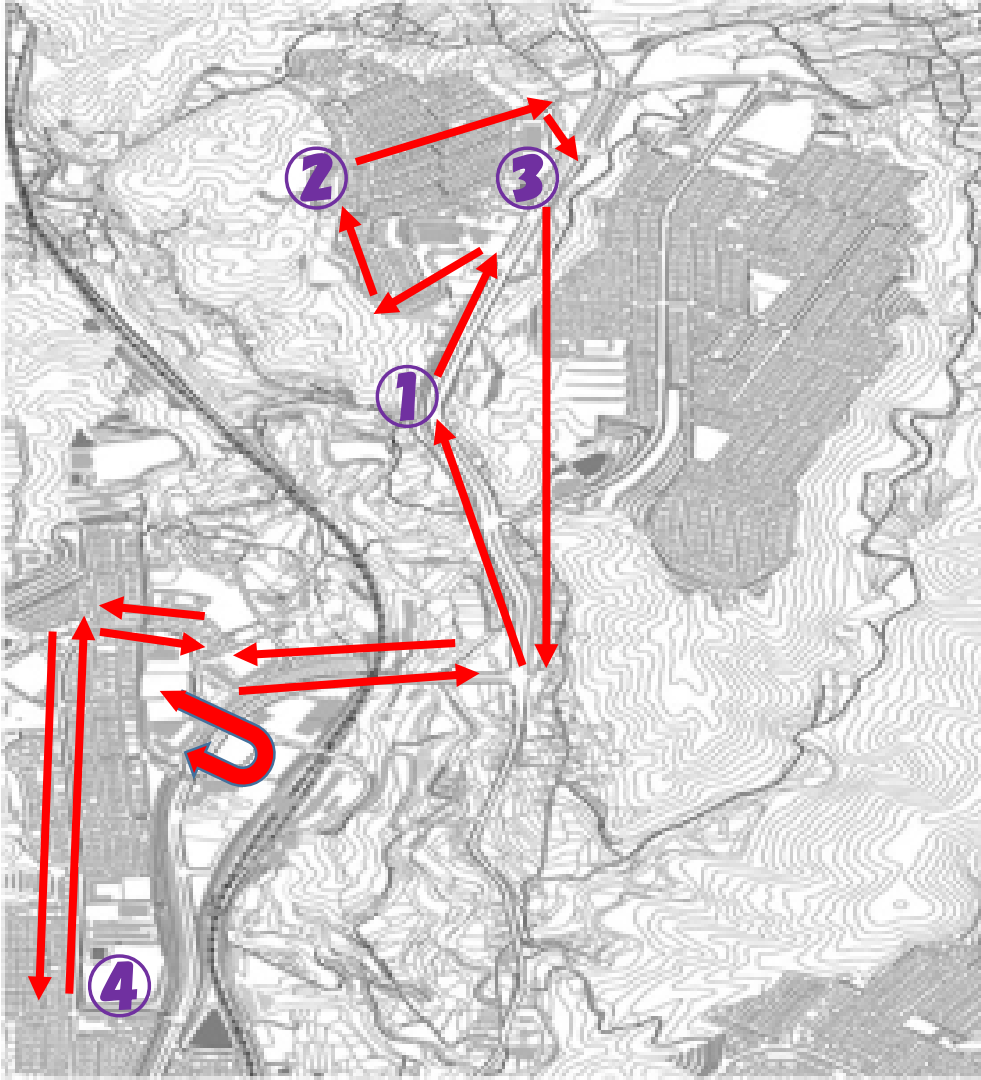
想定地区：光陽台、矢倉脇、柱本

バス規格：マイクロバス（最大27名）

停留所：4か所（三石小学校含む）

便数：行き2便、帰り3便

ルート：紀見北地区公民館前を經由して小学校へ行き来します



3. 柱本小学校区の通学支援

(2) 紀見ヶ丘ルート

対 象 者：最大48名（R14年度までの児童数推計より）

想定地区：柱本、慶賀野、紀見ヶ丘

通学支援：スクールバス

内 容：マイクロバス1台（最大27名）

停 留 所：7カ所（三石小学校含む）

便 数：行き2便、帰り3便

そ の 他：行きの便で乗車人数の調整必要

スクールバス (紀見ヶ丘ルート)

想定地区：柱本、慶賀野、紀見ヶ丘

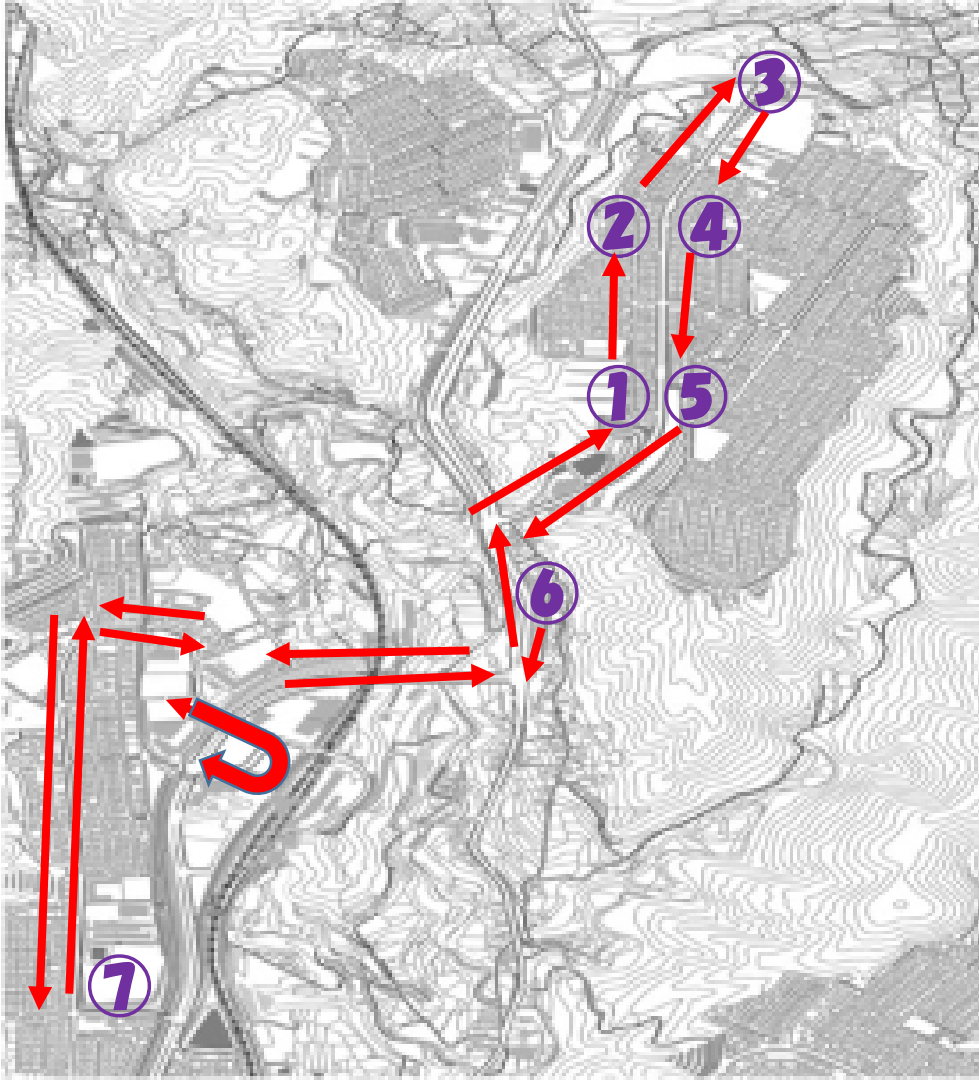
バス規格：マイクロバス（最大27名）

停留所：7か所（三石小学校含む）

便数：行き2便、帰り3便

ルート：紀見北地区公民館前を経由して小学校へ行き来します。

その他：慶賀野は道路東側のみで乗降



3. 柱本小学校区の通学支援

(3) 学校の乗降場

■変更前の乗降場（案）

スクールバスの乗降場は、「林間田園都市駅前のバスロータリー」とします。また、ロータリーから三石小学校間は「徒歩通学」とします。



■変更後の乗降場（案）：

スクールバスの乗降場は、「三石小学校敷地内（グラウンド内）」とします。

3. 柱本小学校区の通学支援

(3) 学校の乗降場

バス発着場の位置・大きさ・
形・安全対策などの詳細は
今後検討を進めます。



3. 柱本小学校区の通学支援

(3) 学校の乗降場

バス進入路 イメージ
(運動場へ)

進入路の候補地

3. 柱本小学校区の通学支援

(3) 学校の乗降場

＜三石小学校敷地内を乗降場とする際の課題＞

①バスサイズの制約

学校敷地への進入スペースが狭いことなどから、マイクロバスでの運行となります。再編決定後に保護者や学校と乗車人数等に関する協議を行います。

②児童の安全確保や学校行事への影響

児童の安全確保のため、バス進入路や乗降場付近は十分な安全対策が必要です。例えばフェンス等のハード対策だけでなく、通行制限等のソフト対策の両面から対策を検討します。

また、バス乗降場の設置により、グラウンド敷地が一定狭くなるため、学校行事の見直しなどの対応が必要となります。

3. 柱本小学校区の通学支援

(3) 学校の乗降場

＜三石小学校敷地内を乗降場とする際の課題＞

③近隣の交通への影響やゴミステーションの移設

学校周辺でスクールバスの運行が開始されることの周知や、スクールバス進入路を設置する場所に、現在のゴミステーションを移設する必要があるなど、地域の方々の理解や協力が不可欠です。

3. 柱本小学校区の通学支援

(4) スクールバス乗降システムの導入

スクールバス乗車システムのご紹介

システムの利用イメージ



4. 児童ケア



(1) 児童の環境変化への対応

◆児童や保護者のメンタルケア

再編統合に関して、児童・保護者が期待していること、心配に感じていることを調査するためアンケートを実施します。 アンケート結果を踏まえ、日々の学校における児童の様子なども含め、学校と教育支援センターが連携し、児童ケアに丁寧に対応していきます。

◆学校間交流

再編統合前から不安の軽減と子供の交流などを目的に学校間交流に取り組みます。

◆不登校・不登校傾向の児童に対する支援

児童一人ひとりの不安に寄り添えるよう、学校間で情報共有をより丁寧に行います。また、気軽に相談できる環境やヘルプサインを出しやすい環境を整えます。

4. 児童ケア

(2) 支援学級の児童に対する支援

子供たちの健やかな心身の成長・発達を願い、生まれてから義務教育卒業まで、専門職員、保護者、園、学校と連携し、必要な支援の内容を相談する機会を設けています。

- 一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、可能性を最大限に発揮させ、将来の自立や社会参加のために必要な力を培うという視点に立って、適切な指導や必要な支援を行っています。
- 再編統合にあたっては、学校が保護者と面談し、学校間で丁寧に引継ぎを行い、児童が新しい学校において、安心して学習を受けることができるよう努めていきます。
- 通学方法について、特段何らかの対応策を決めていることはありません。ただし、児童の状況等については、別途、個別にご相談を受けたいと考えています。

5. 保護者負担の軽減

(1) 通学帽子や体操服などの費用負担

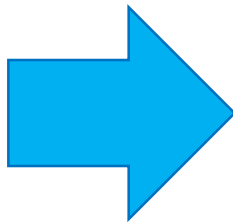
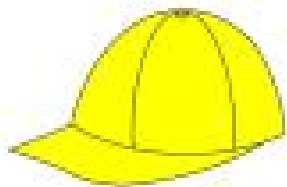
再編統合がなければ発生しない保護者負担（買替の費用等）は原則、市の負担とします。



柱本小学校

三石小学校

新しい学校



新しい学校の通学帽子や体操服等の内容について、話し合いにより検討します。なお、元の体操服などを続けてご利用いただく場合もあります。

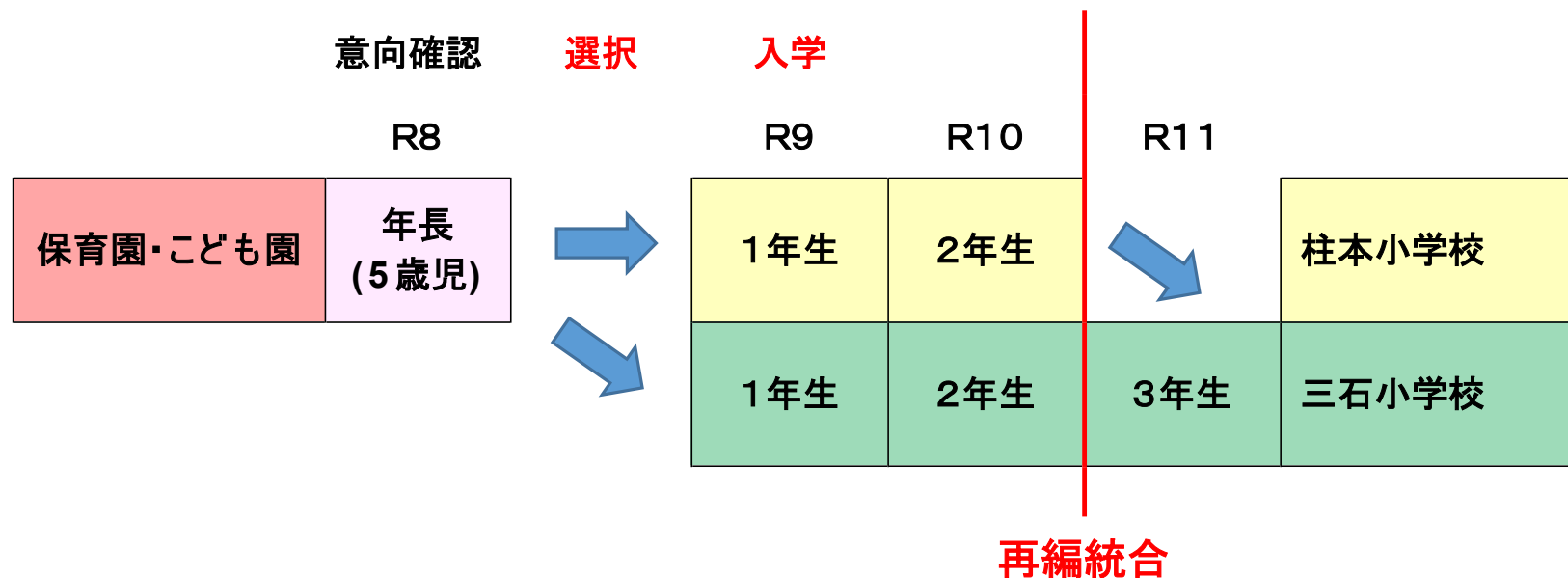
5. 保護者負担の軽減

(2) 両校の学用品等

	柱本小学校	三石小学校
制 服	自由服	自由服
名 札	学校指定のもの(入学時に配布、校名・校章入り)	学校指定のもの(入学時に配布、校名・校章入り)
通学靴(下靴)	指定なし	指定なし
通 学 帽 子	指定なし(着用自由)	黄帽子(校章入りを購入)
体 操 服	半袖シャツ(Vネック、校名入り) ハーフパンツ(ブルー) 長袖ジャージ(校名入り)、長ズボン(ブルー) 赤白帽	半袖シャツ(Vネック、校名入り) ハーフパンツ(紺色) 長袖ジャージ、長ズボン(ブルー) 赤白帽
水泳キャップ	学年ごとに色分け	学年ごとに色分け
シューズ	上靴(白色) 体育館シューズ：指定あり、青のライン入り	上靴(体育館シューズと兼用) 白を基調とした運動の出来る靴(ひも靴は不可)

6. 再編統合前の学校選択

再編統合2年前の令和9年度以降に柱本小学校に入学する「新入生」と、「新入生のきょうだい」に限っては、柱本小学校か、三石小学校を選択できます。



7. 今後の進め方

①説明会・意見交換会

保護者や住民等を対象に開催します



②学校再編準備委員会の審議

学校再編準備委員会を設置して、再編統合を進めることについて確認します



③学校設置条例の改正

再編統合に伴う条例改正を行います



④学校再編準備委員会の審議

新しい学校の内容について、学校再編準備委員会等で協議し、必要な取組を実施します

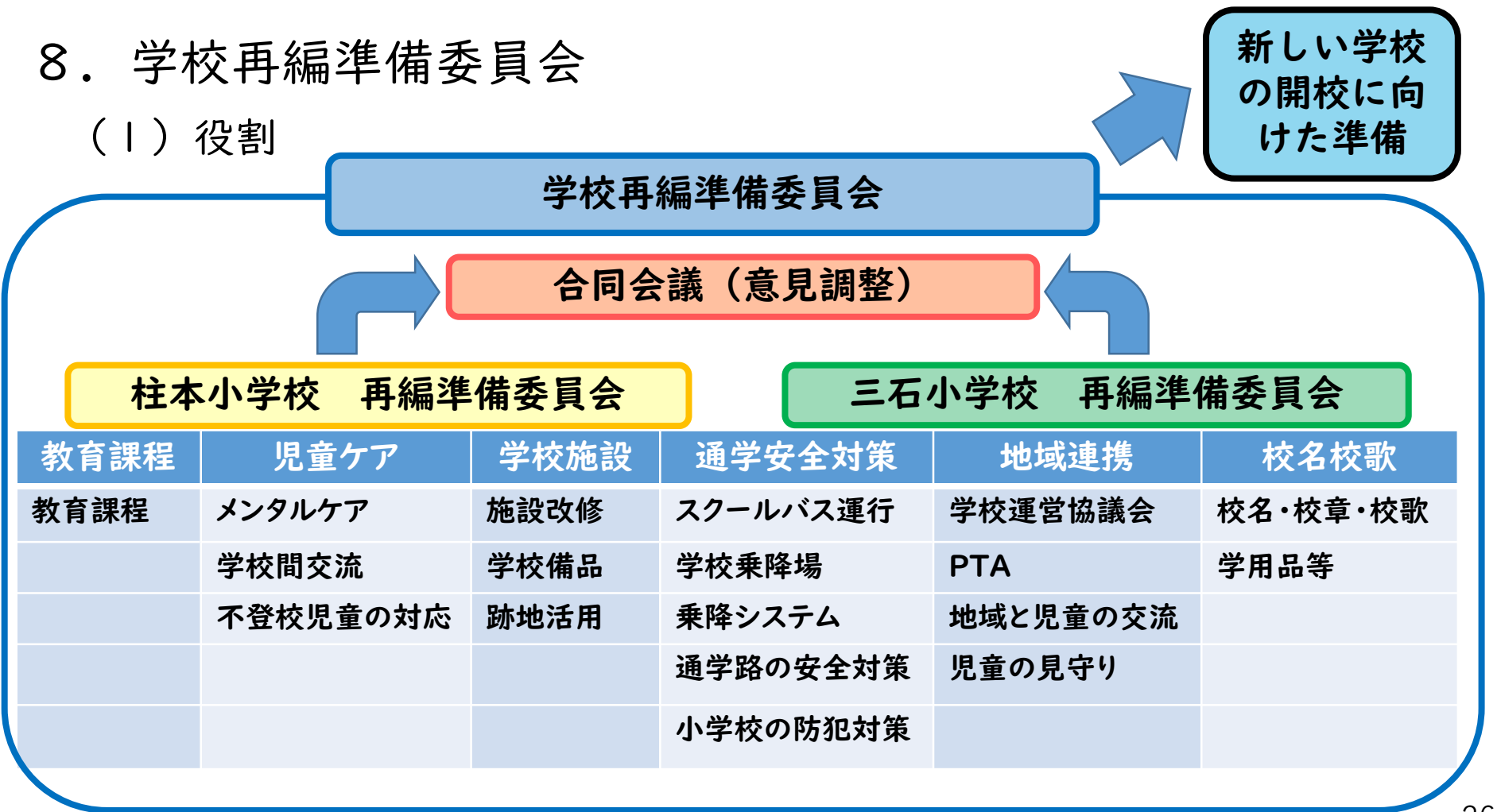


新しい学校の開校

新しい学校として開校します
(R11年4月目標)

8. 学校再編準備委員会

(1) 役割



教育課程	児童ケア	学校施設	通学安全対策	地域連携	校名校歌
教育課程	メンタルケア	施設改修	スクールバス運行	学校運営協議会	校名・校章・校歌
	学校間交流	学校備品	学校乗降場	PTA	学用品等
	不登校児童の対応	跡地活用	乗降システム	地域と児童の交流	
			通学路の安全対策	児童の見守り	
			小学校の防犯対策		

8. 学校再編準備委員会

(2) 構成等 ※柱本小、三石小それぞれで構成します

人 数	20名程度
構 成	教育関係者
	地域住民の代表
	保護者の代表
	学校関係者

※橋本市立学校再編準備委員会条例

ご清聴ありがとうございました



<お問い合わせ先>
橋本市教育委員会 学校再編推進室
TEL 0736 (25) 6345